

令和5年度 墨田区立立花幼稚園 経営報告書

令和6年3月7日

幼稚園目標	<p>人権尊重の精神を基調に、健康で心豊かな幼児の育成を目指し、生涯にわたり生きる力の基礎を培う教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○心も体も元気な子ども (げんき) ○自分で考え、やりぬく子ども (やるき) (こんき) ○互いを大切にすること子ども (おもいやり)
目指す幼稚園像	『一人一人が輝く温かい幼稚園』
目指す園児像	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して自己発揮し、自己肯定感をもつ子ども ・主体的に遊びや生活をつくりだす子ども ・自分で考え、進んで行動し、やり遂げようとする子ども ・互いのよさを認め合い、自他を大切にすること子ども
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・愛情と笑顔をもって子どもと接し、一人一人に応じた丁寧な指導を行う教師 ・向上心をもち研究・研鑽に努め、やりがいと自己の成長を感じることのできる教師 ・互いに学び合い、認め合い、高め合うことのできる教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	取組目標	自己評価		学校関係者評価		
		達成状況		○分析 ・改善方策	自己評価について	改善策について
		取組指標	成果指標			
保育活動等	<p>○幼児の主体的な活動を促す教育を実施する。</p> <p>①実践事例を検討し、環境設定や指導に生かす。</p>	4	4	<p>○墨田区の研究協力園として研究を推進、発表する中で、主体性を育むための指導に生かすことができた。</p> <p>○幼児の主体性に成長が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究の継続と日々の指導の適切な振り返りを行い、指導計画の改訂を実施する。 	A	B
	<p>○特別な支援を必要とする幼児に対しての、組織的な支援等を行う。</p> <p>①巡回相談での外部講師の指導を生かし、個別の支援計画に基づいた支援を行う。</p> <p>②全教職員で支援の方向性を共通理解し、実践する。</p>	4	4	<p>○外部講師による巡回相談を予定以上に実施し、個別の支援計画のもと、個に応じた具体的な支援を行った。</p> <p>○当該幼児の支援目標への達成が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回相談内容の確実な伝達により、全教職員の専門性向上を図る。日々の情報共有、共通理解のもと個に応じた組織的な支援を実施する。効果的な記録ノートの活用方法を工夫する。 	B	B
	<p>○人と関わる力を育む教育を実施する。</p> <p>①人との関りを深め、喜びや葛藤体験を重視した教育を推進する。</p> <p>②様々な人と関わる教育活動を推進する。</p>	3	2			
	<p>○人と関わる力を育む教育を実施する。</p> <p>①人との関りを深め、喜びや葛藤体験を重視した教育を推進する。</p> <p>②様々な人と関わる教育活動を推進する。</p>	4	3	<p>○コロナ禍を経て、学年間での異年齢交流、保護者や地域、各校種との交流を実施することができた。</p> <p>○幼児の他者と関わる力に成長が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児数減少に伴い、学年間での異年齢交流、合同保育の工夫を図り、教育内容を充実させる。 	A	A
<p>○教員の指導力向上のための、組織的な取組を行う。</p> <p>①教員の保育理論構築と指導力向上を図る。</p>	3	3	<p>○外部講師による研究保育の実施、保育内容の発信の工夫、研究会への参加を通し、教員の指導力の向上につながった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究の継続と研究成果の発表を行う。 	A	A	

様式 3

<p>学校関係者評価委員会の評価委員による、学校運営の改善に向けた実際の取組についての意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園児数が減少の中で、4歳児と5歳児の交流は子どもたち同士の刺激ともなり素晴らしい。 ・墨田区研究協力園としての取組、それが日々の生活・学習に反映されている。園児たちが幸せである。 ・研究発表会に参加させていただき、学ばせていただくことがたくさんあった。
--	---

項目	取組目標	自己評価		学校関係者評価		
		達成状況		○分析 ・改善方策	自己評価について	改善策について
		取組指標	成果指標			
生活指導等	○人間関係づくりのための心の教育を実施する。 ①教職員の人権教育を推進する。	4	3	○教職員の人権研修参加や全教職員への伝達研修を実施し、教職員の人権意識が高まった。 ○多様性を受け止め、互いのよさや違いを認め合う幼児が育成された。 ・人権教育プログラムの活用を増やす。	A	A
	○基本的な生活・社会習慣を身に付ける取組を実施する。 ①健康な生活、身近自立を育む教育を推進する。 ②規範意識や自分の気持ちを調整する力を育成する。	4 3	3 3	○日々の身近自立指導、年2回のあいさつ運動を実施し、幼児の基本的な生活習慣・社会習慣が身に付いた。 ○遊びや生活の中で、場面を捉え、幼児とともにルールづくりを行った。 ・幼児自身が必要感を感じ、自分事としてルールをつくり、守ろうとする姿を大切に、教育内容に位置付ける。	A	A
	○危機回避能力の育成や幼児の安全を確保するための取組を実施する。 ①安全への理解、考えて行動できる幼児を育成する。 ②組織的な安全対策を実施する。	4 4	3 3	○定期的な安全指導、安全点検を実施し、大きな事故もなく過ごすことができた。 ○場面を捉えての安全指導や様々な想定での避難訓練を実施し、幼児の内容理解、安全への意識が高まった。 ・幼児が自ら考えて行動したり、予測して危機回避したりできるよう、引き続き指導の徹底を図る。	A	A
	○幼児や保護者からの意見や要望への対応等を行う。 ①一人一人の保護者との信頼関係を築く。 ②保護者からの意見や要望を教育内容に生かす。	4 4	4 4	○日々のコミュニケーションとともに、保護者からの意見や要望に対し、迅速かつ丁寧で真摯な対応を心掛けた。保護者アンケートからは、高い肯定的評価を得られた。 ・保護者からの些細な要望も必ず全教職員で情報共有し、園として組織的に対応していく。	A	A
	学校関係者評価委員会の評価委員による、学校運営の改善に向けた実際の取組についての意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を確立するための取組が素晴らしい。 ・一人一人の個性を大切にしている。参観して、多様性への配慮がされていると感じた。 ・遊びや生活の中で子どもと一緒に「どうしたらいいと思う？」とルールづくりできているのは素晴らしい。 				

項目	取組目標	自己評価		学校関係者評価		
		達成状況		○分析 ・改善方策	自己評価について	改善策について
		取組指標	成果指標			
園の管理	○経営方針に基づいた、組織的な教育活動・園運営を実施する。 ①学級経営案・週案の作成と共有により、計画的・組織的な教育活動を実施する。	4	3	○園目標や教育課程、長期的な教育計画を基に、各担任が学級経営案、週案を作成し計画的に教育活動を実施した。 ・担任を中心に日々のねらいを全教職員で共通理解し、教育活動を進める。 ・教職員のキャリアや長所に応じ、力を発揮し合える組織づくりを行う。	A	A

様式 3

運 営	○幼児の実態に合わせた教育目標設定及び園評価を実施する。 ①自己評価・幼稚園評価を踏まえた教育課程の評価、次年度教育課程作成を行う。	4	3	○教育課程や日々の保育の評価・反省、定期的な自己評価を実施し、評価結果を踏まえた教育課程作成を行った。 ・教員の教育課程編成への参画意識を高め、カリキュラム・マネジメント力を育成する。	A	A
	学校関係者評価委員会の評価委員による、学校運営の改善に向けた実際の取組についての意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上に向けての意識の高さ、取組が素晴らしい。 ・園だよりの中にも一貫したものがいつも感じとることができ、安心している。 				

項目	取組目標	自己評価		学校関係者評価		
		達成状況		○分析 ・改善方策	自己評価について	改善策について
		取組指標	成果指標			
家 庭	○教育方針や教育活動を分かりやすく伝える取組を行う。 ①幼稚園公開、保育参観、保護者会等を実施する。	4	3	○幼稚園公開、保育参会、保護者会の実施、配布物や写真掲示、ホームページ等で、教育内容やその大切さについて発信できた。 ○保護者アンケートでは高い肯定的評価を得られた。 ・未就園児の会の充実を図り、地域への発信を強化し、地域の子育て支援センター的役割を果たす。	B	B
	②配布物、掲示物、ホームページでの発信を行う。	3	3			
地 域 連 携	○保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を実施する。 ①保護者保育参加（親子活動）を実施する。	4	3	○保護者保育参加、地域の施設活用、人材活用などを実施することができ、教育内容が充実した。 ・地域の施設や人材を活用した教育活動は継続し、教育内容の充実を図る。	A	A
	②地域ゲストティーチャーを活用した教育活動を実施する。	4	3			
学校関係者評価委員会の評価委員による、学校運営の改善に向けた実際の取組についての意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から信頼される園となるための取組がなされていることが大変理解できる。 ・コロナが明けて、様々な活動を工夫しながら進めていただいている。とても楽しい園生活がなされていることが伝わってくる。 				

2 令和5年度学校評価のまとめ

<p>・幼児の主体性を重視した教育活動が、これまでの積み重ねの中で充実してきており、幼児の育ちにつながっている。今年度の園内研究『たくましい幼児の育成～乗り越える姿を見つめて～』については、教育活動の中で特に意識的に取り組み、研究成果を広く発表することができた。</p> <p>・保護者および学校関係者の方から高い肯定的評価をいただき、園の教育内容への理解が得られていることを感じた。園児数減少が残念でならないという声が多く、今後、園の教育内容や魅力の発信を強化し、墨田区の幼児教育を牽引する立場としての教育の推進を行いたい。</p> <p>・コロナ禍が明け、幼保小中での交流、地域との交流、様々な行事を実施することができた。コロナ禍で得られた方法も踏まえ、今後一層、ねらいに即した実践の工夫を図りたい。</p>
--

以上の通り報告いたします。

墨田区立立花幼稚園 園長 宮田 宏子 公印